

ヒ
非

非

鳥の両翼を広げた象形。

翼は左右反対向きについている。

- ① 反対
- ② 否定(……でない)
- ③ 悪い

注 音は背(そむく=反対)、またはヒ。

ハイ ヒル
higi → hill

ヒ
扉

- ① 左右反対に開く戸

→両開きの戸(本義)

→とびら 例 開扉・自動扉

ハイ
排

- ① 反対側に手で押しやる

→押し^{のける} 例 排斥・排除

→外に出す 例 排泄^{セン}・排水

注 バレーボールを排球と訳している。

- × 誹 ③ 相手を悪く言う

→そしる 例 誹^{ボウ}謗

ハイ

俳 → 乞^{こじき}食 (食べ物を乞い歩くの意)

参考 “徘徊”は、乞食のように、あてもなく歩き回るという意だが、今は“そぞろ歩き”の意に用いられ、字も“徘徊”という字に書かれる。俳は、わが国では“俳諧”の意で、“俳句・俳人・俳画”などと使われる。

ヒ
霏

- × 霏 ② 雨でない雨(雨らしくない雨)

→霧^{きり}や霏^{もや}の類

→雨の飛ぶ様(非=飛) 例 霏々と降る

× 匪

- ② 箱(こ)でない箱(箱らしくない箱)

→円形のはこ(ふつう箱と言えは四角なので、箱らしくない訳)

ハイ

輩

- △ 車が押し合う(排)ようにぎっしりとつまって並んでいる

→多くの車(本義)

→ **多くの人** (特に仲間の人に使う)

例 先輩・後輩・同輩

× **斐** ^ヒ △ 模様(文)がぎっしりと並べられている

→ **模様**

→ **美しい** 例 斐然・斐たる君子

× **悲** ^ヒ ① 心の中でこうありたいと願っていることと反対の結果になっ

てしまったので?

→ **かなしい** 例 悲劇・悲運

→ **かなしむ** 例 悲痛・悲憤

→ **あわれむ** 例 慈悲・大悲

× **悱** ^ヒ ① 心の中で思っていることが、思うように言えないので?

→ **いらだつ** 例 悱憤

× **菲** ^ヒ ② 草でない草(雑草でない、食べられる草)

→ **野菜** (本義)

→ **薄い** (粗末) 例 菲才・菲薄

注 野菜だけの食事では粗末である。

× **腓** ^ヒ ① 胆の反対側の筋肉

→ **ふくらはぎ**

問 悲憤と悱憤との違いを述べよ。

答 悲憤の憤は憤慨の意で、悲しみいきどおること。悱は心の中を思うように言い表わせないでいらだつこと、憤は思うことが心に溢れるほどあつていらだつこと。論語に、「憤せずんば啓せず、悱せずんば発せず」とある。孔子が弟子たちを教えるのに、弟子たちの学習がそこまで達しないうちは教えなかったのである。ここから“啓発”ということばが使われるようになった。諸君も問題に対してよく考え、わかつてはいるのだがうまく言えないときにはじめて回答を見たり、教わったりするという態度が必要である。